

O k i n a w a

採点！沖縄観光

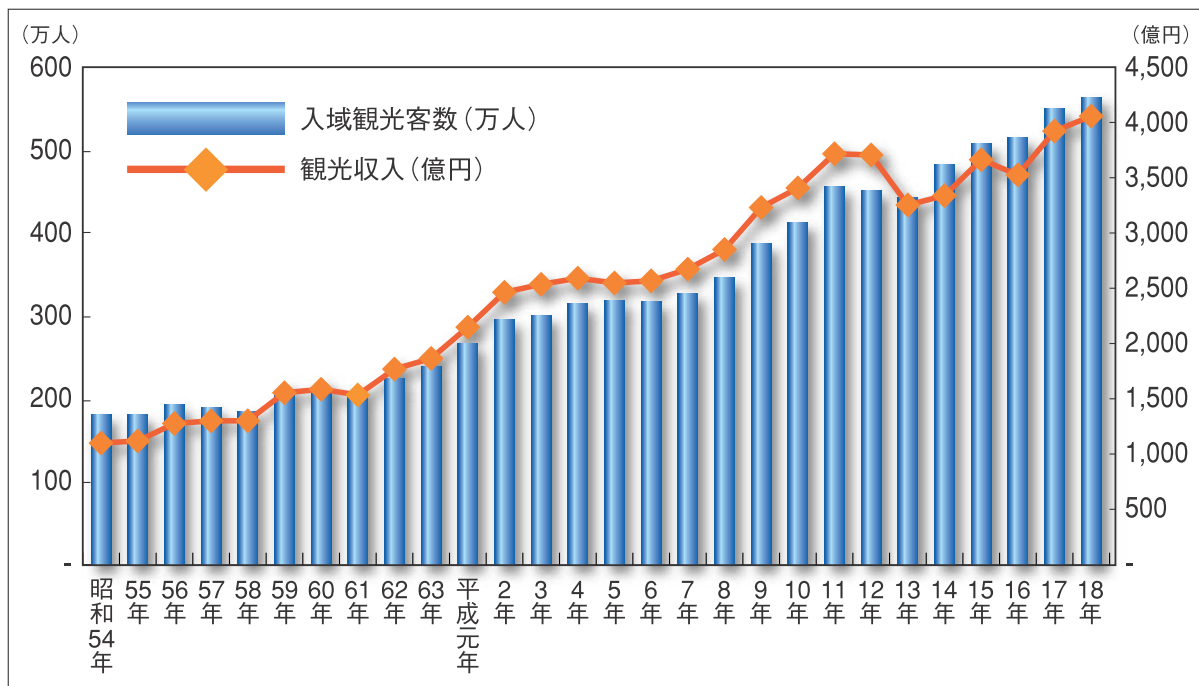
平成18年度 観光統計実態調査(概要版)

平成19年3月

沖縄県 観光商工部

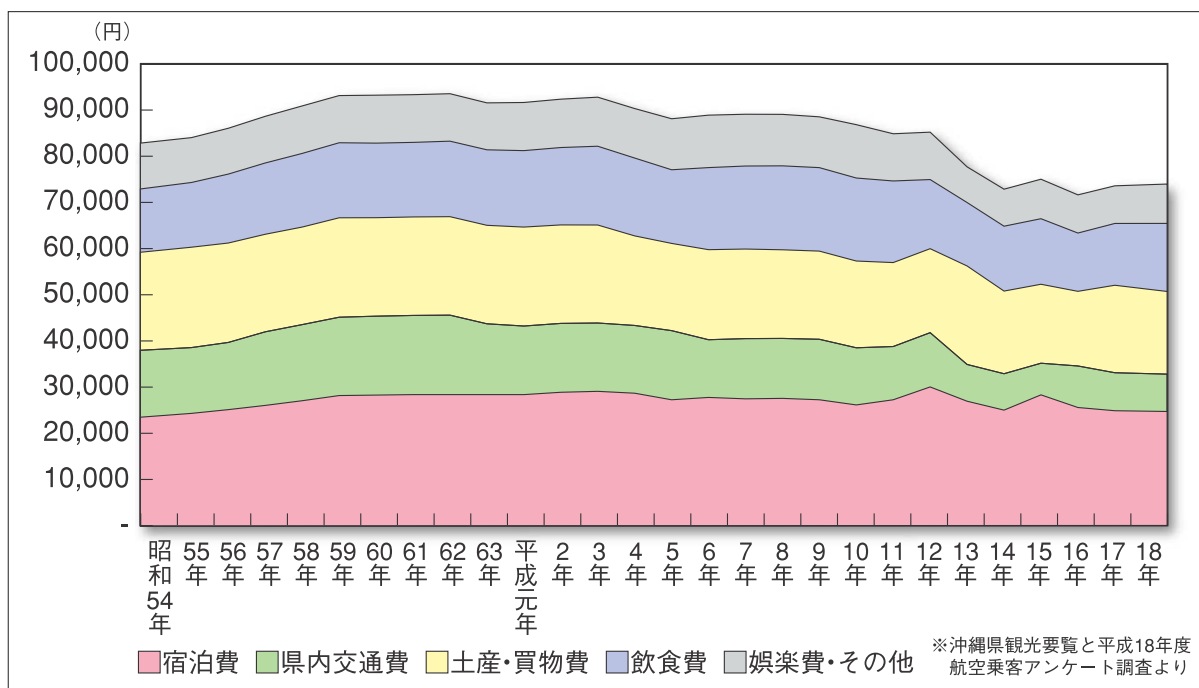
沖縄県における観光の重要性

■ 入域観光客数と観光収入の推移



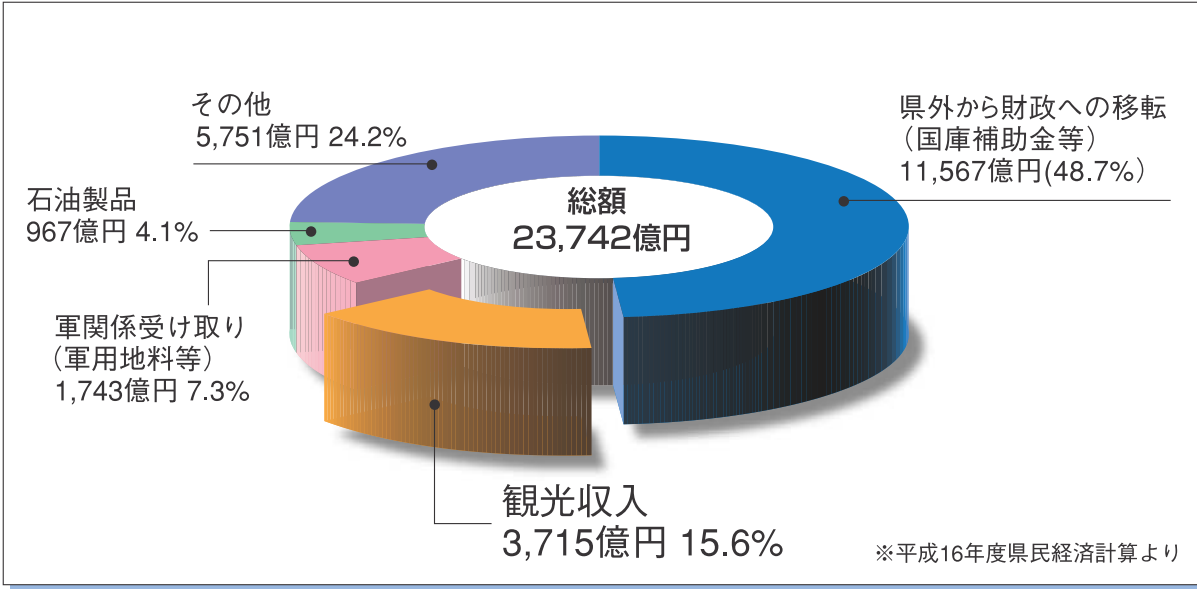
平成18年の入域観光客数は5,637,800人となり、5年連続で増加した。これにともない、観光収入も4,104億円と4,000億円の大台を突破した。

■ 観光客一人あたりの県内消費額



平成18年の県内消費額は、前年比0.5%増の72,797円となった。旅行商品の低価格化を背景に伸び悩んでいるが、飲食費、娯楽費・その他は着実に増加している。

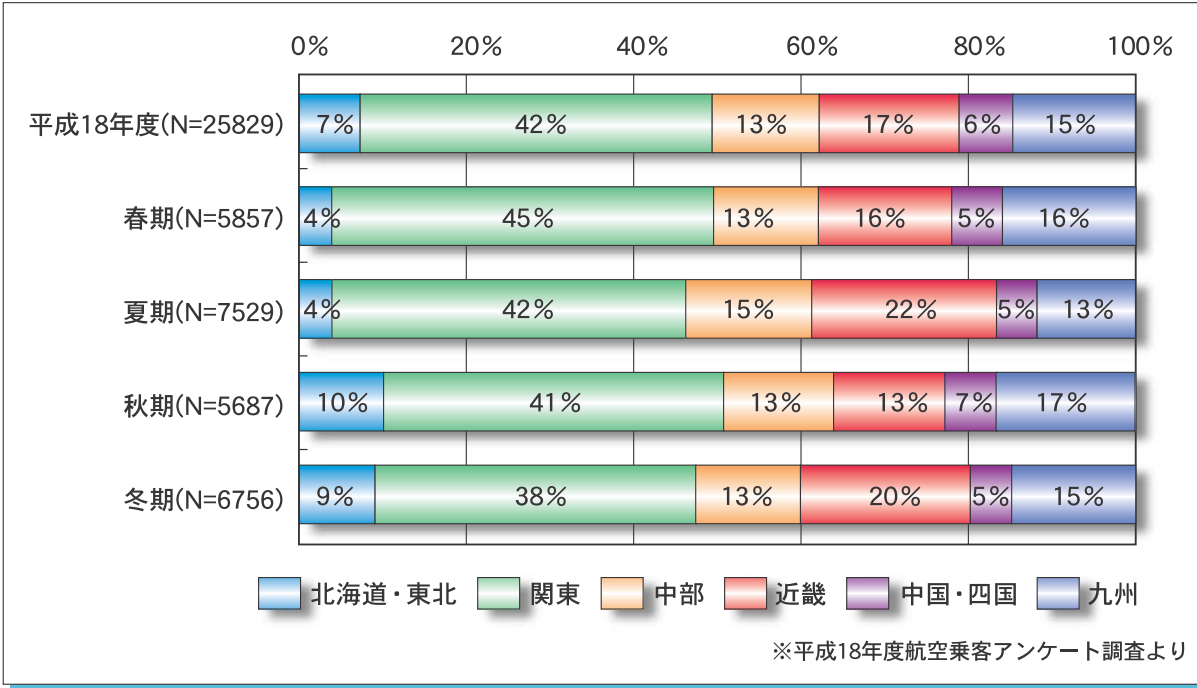
県外受取の内訳 (平成16年度)



県経済が県外から得た収入のうち、観光収入は15.6%となった。産業としては最も高いシェアであり、県経済の自立にとって重要な地位を占めていることがわかる。

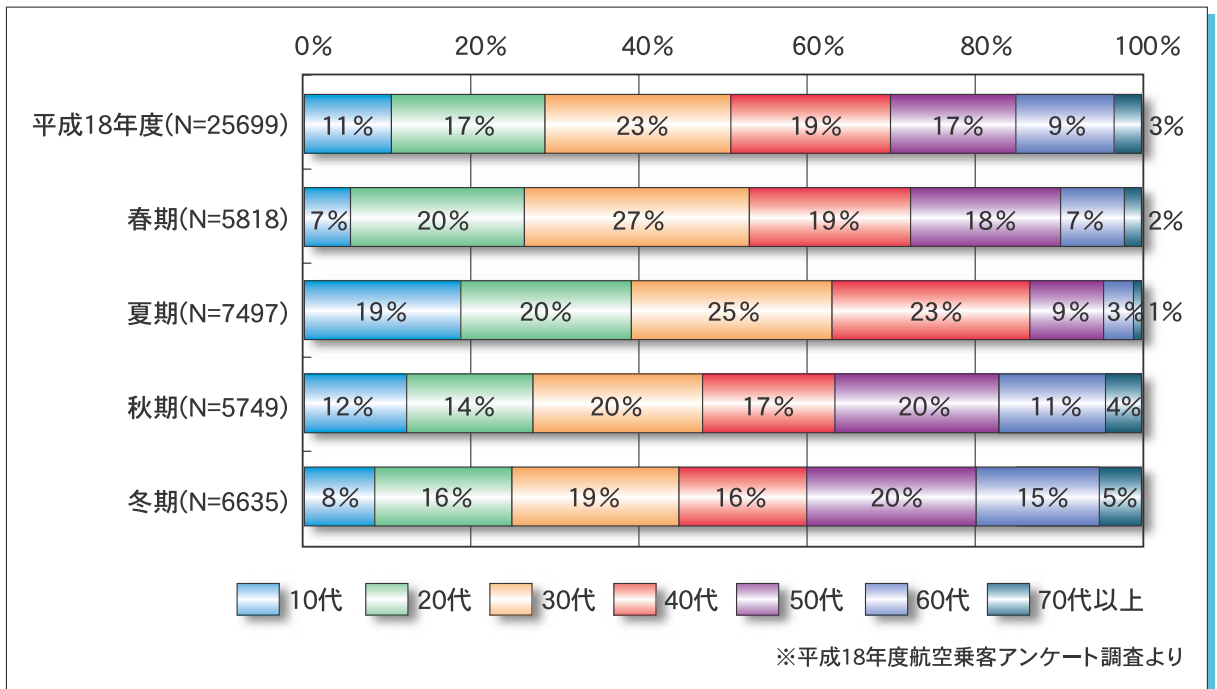
観光客の実像 (外国人客を除く)

居住地



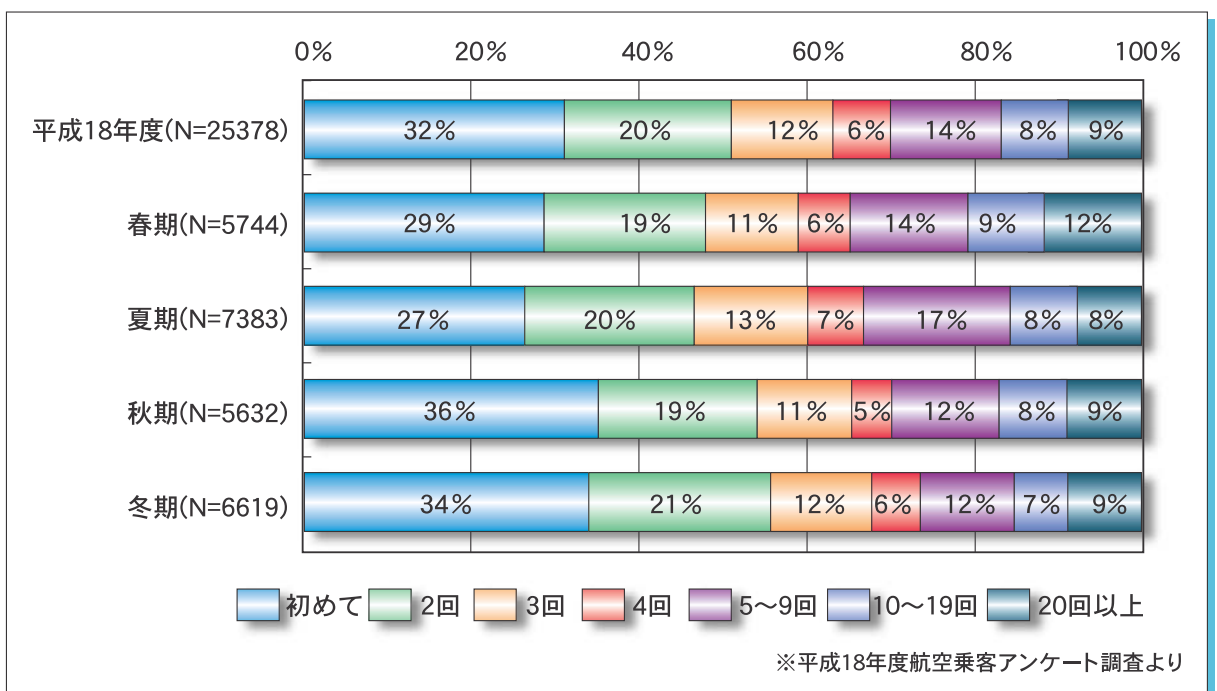
“関東”が最も多く全体の約4割を占めており、季節変動も小さい。“北海道・東北”は「秋期」と「冬期」でやや多く、“近畿”は「春期」と「秋期」でやや少なくなっている。

年齢



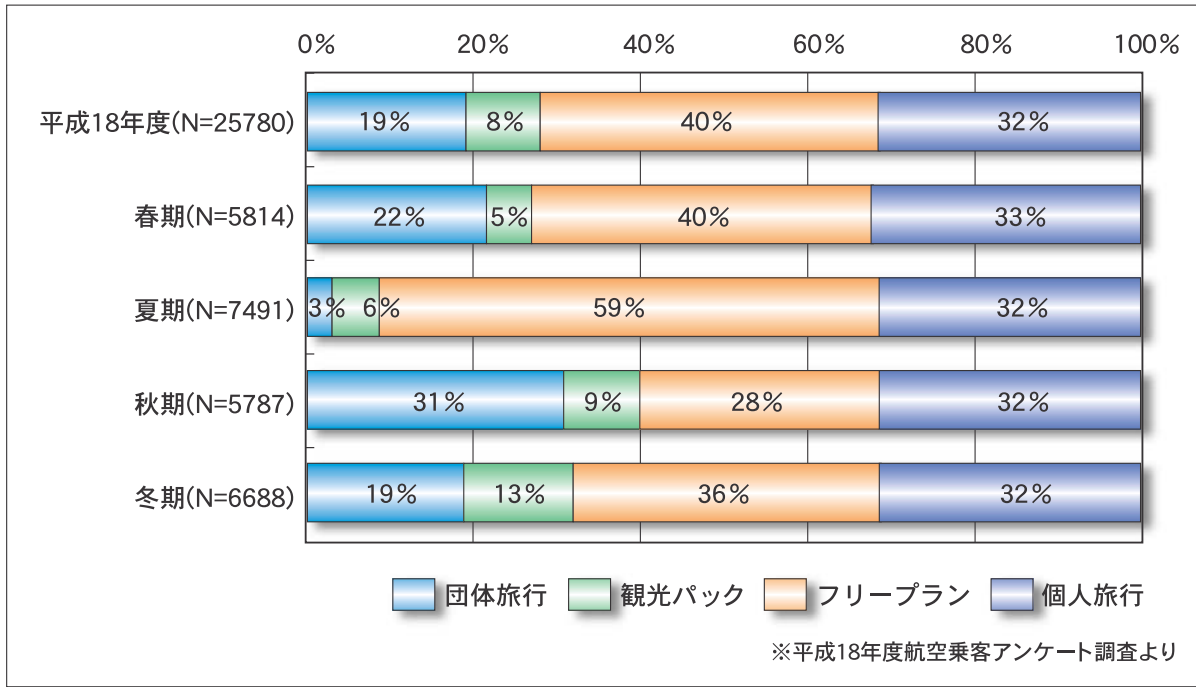
“20代”から“50代”にかけては各年代において約2割を占めているが、60代以上の割合は小さい。また、「夏期」では若年層が多く、「秋期」と「冬期」では熟年層が多い。

来訪回数



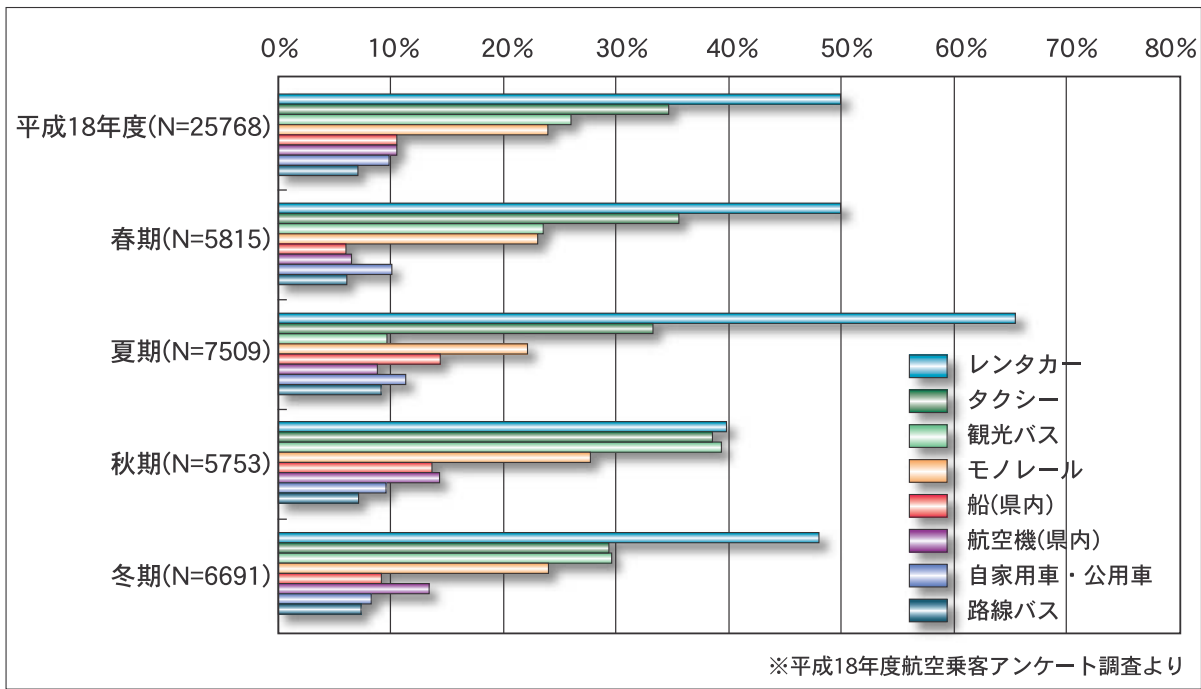
リピーター率は68.4%となった。「夏期」はリピーターが多くなっており、「秋期」と「冬期」は初来訪客が多くなっている。

旅行形態



“フリープラン”が最も多く4割を占めている。また「夏期」は特に“フリープラン”が多い。“個人旅行”は1年を通して3割以上を占めている。

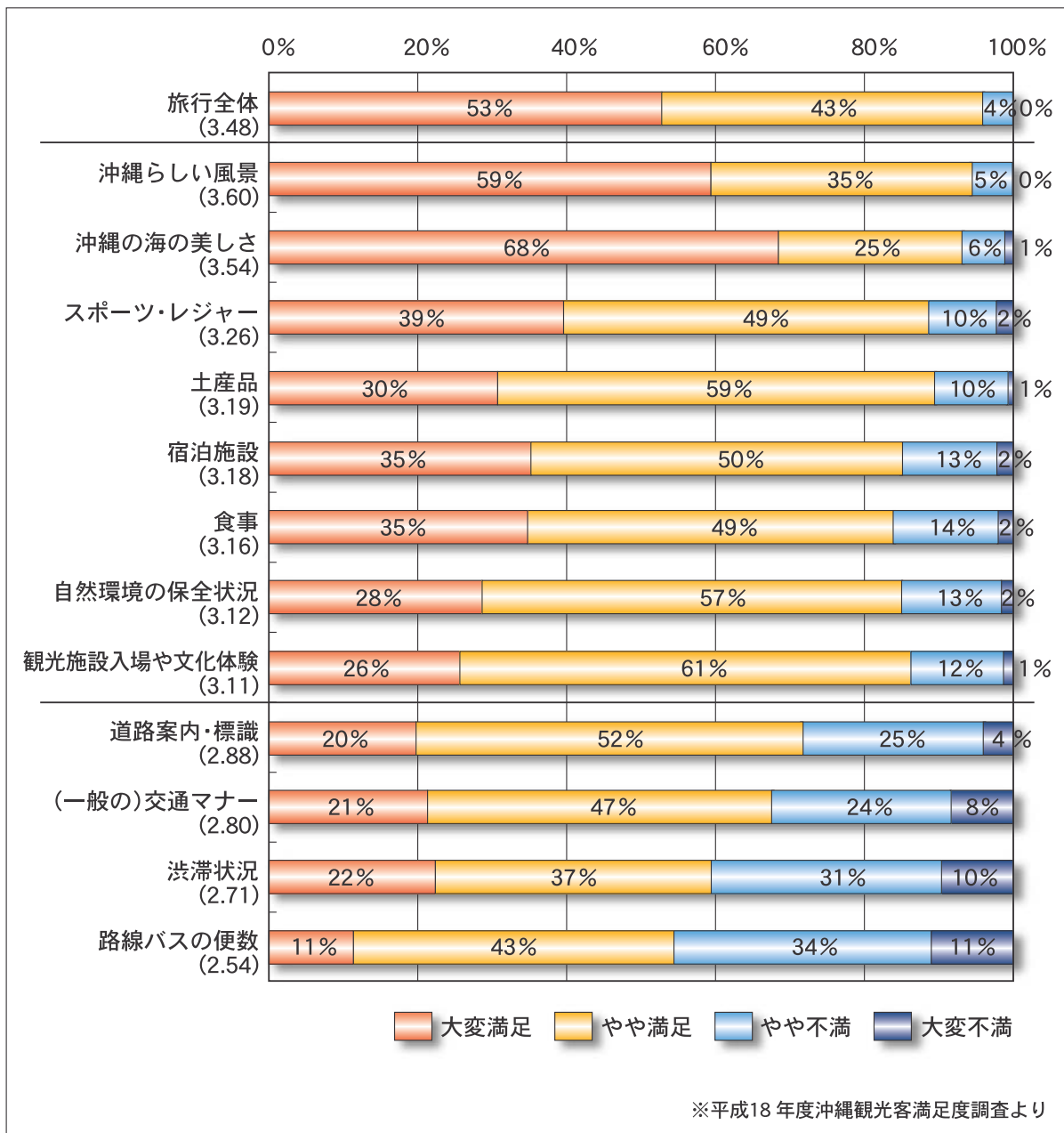
利用した交通機関（複数回答）



“レンタカー”の利用率は約半数に達しているが、“路線バス”の利用率は低くなっている。また、“観光バス”の利用率は季節変動が大きい。

沖縄観光満足度調査

旅行の満足度



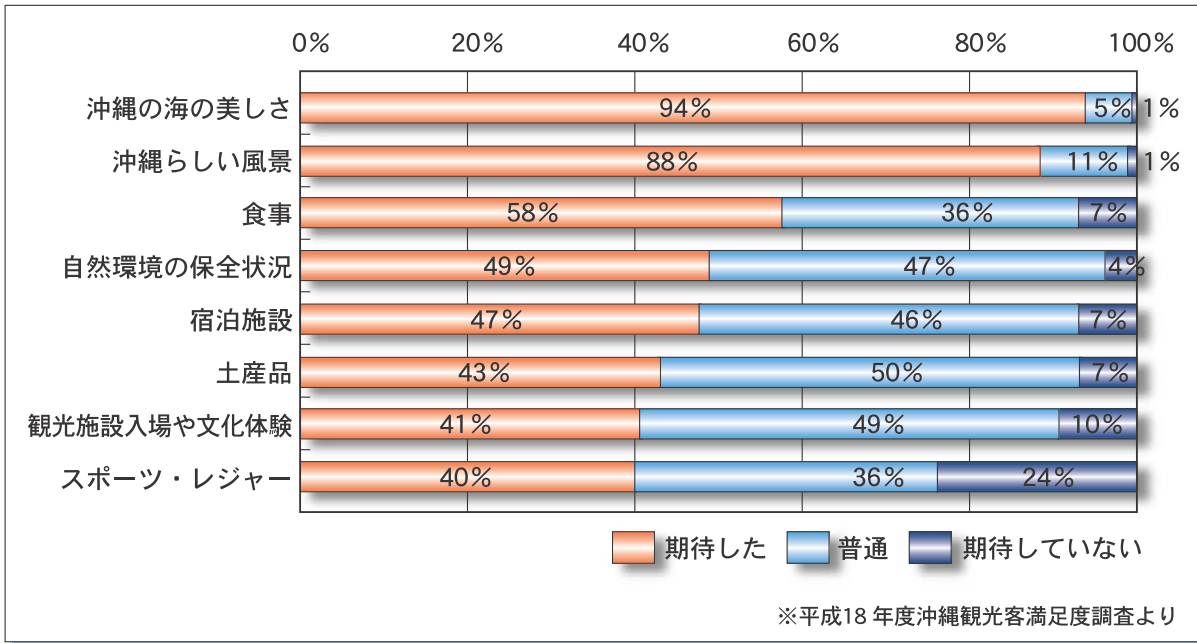
※カッコ内は満足度スコア

※満足度スコアは「大変満足」を4点、「やや満足」を3点、「やや不満」を2点、「大変不満」を1点として算出

※「渋滞状況」「道路案内・標識」「(一般の)交通マナー」「路線バスの便数」については別設問の回答結果

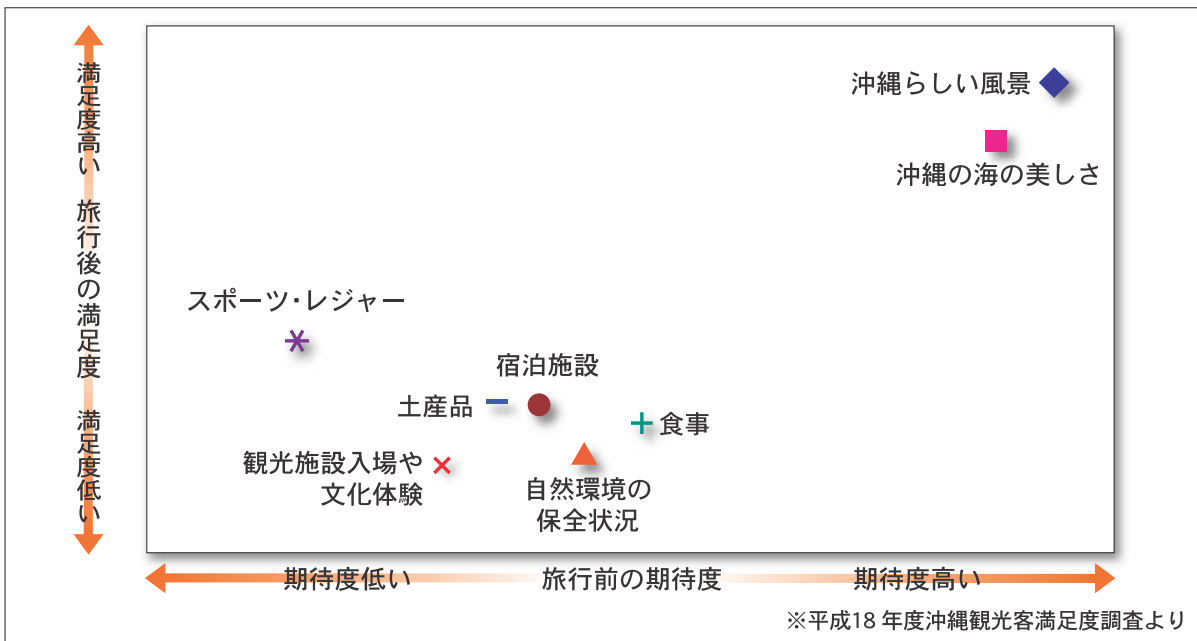
「沖縄らしい風景」、「沖縄の海の美しさ」という沖縄の観光資源に対しては、「旅行全体」よりも高い満足度スコアとなっている一方で、「自然環境の保全状況」は、相対的にスコアが低い。また、「観光施設入場や文化体験」、「食事」、「宿泊施設」、「土産品」などの観光メニューについても相対的にスコアが低くなっている。交通関係については、特にスコアが低くなっており、「路線バスの便数」、「渋滞状況」などは、約4割が不満を感じている。

旅行前の期待度



ここでも、「沖縄の海の美しさ」、「沖縄らしい風景」で、特に“期待した”比率が高く、重要な観光資源であることがうかがえる。これに比べ観光メニュー関係（土産品、観光施設、スポーツ・レジャー）は相対的に“期待した”比率は低くなっている。「食事」、「宿泊施設」は比較的高い比率となっている。

期待度と満足度

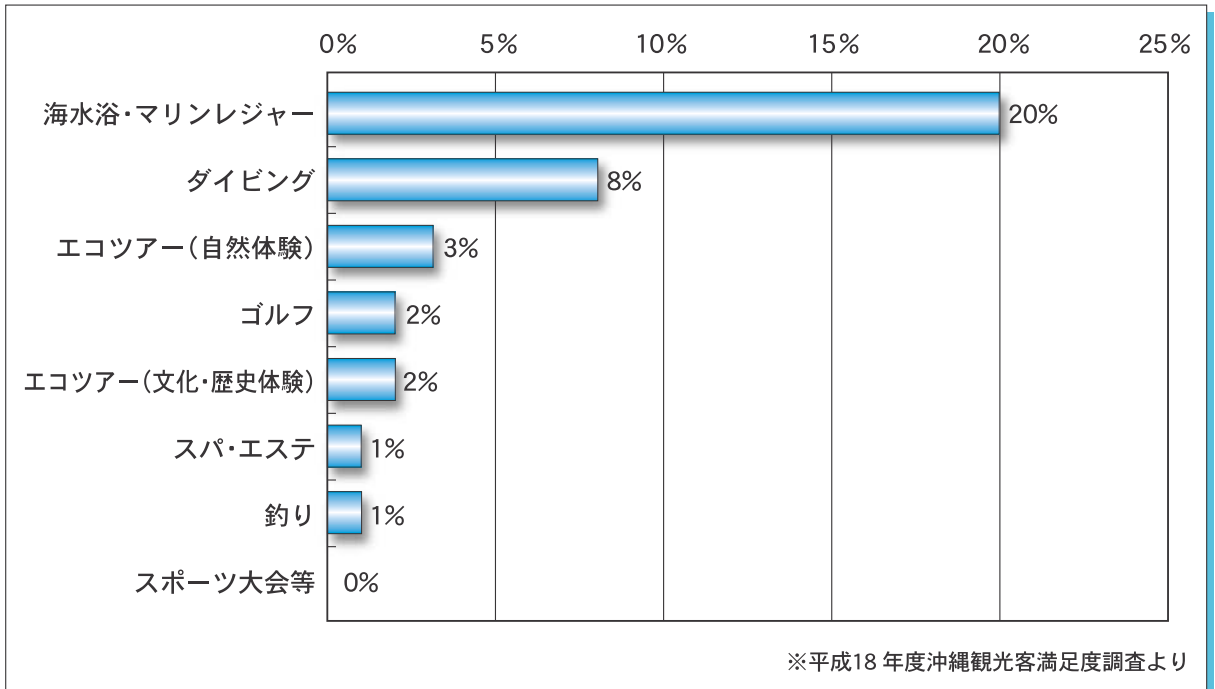


※各項目の数値は満足度、期待度をそれぞれスコア化した数値

「沖縄の海の美しさ」、「沖縄らしい風景」は、期待度、満足度ともに高いが、「食事」、「自然環境の保全状況」は、期待度と満足度のギャップが他に比べ大きくなっている。

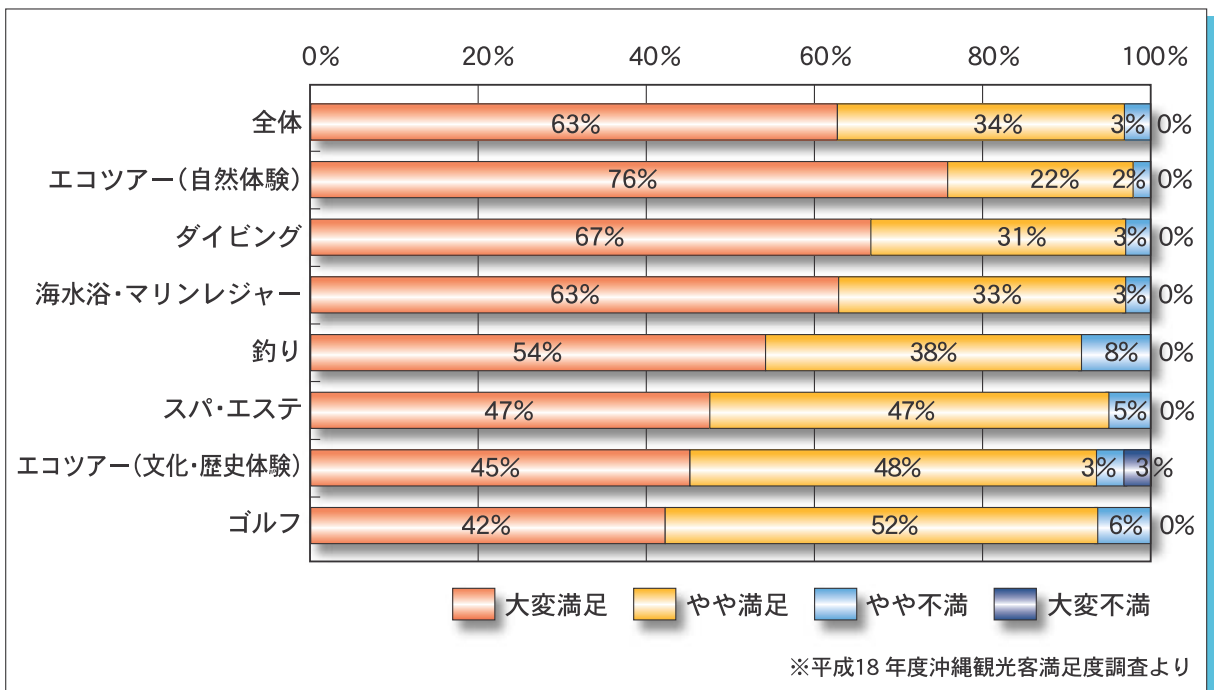
活動

最も印象に残った活動



「海水浴・マリレジャー」、「ダイビング」など、自然体験系に好印象が集まり、文化、歴史、スポーツ系の活動は、まだ一般的になっていない状況がうかがえる。

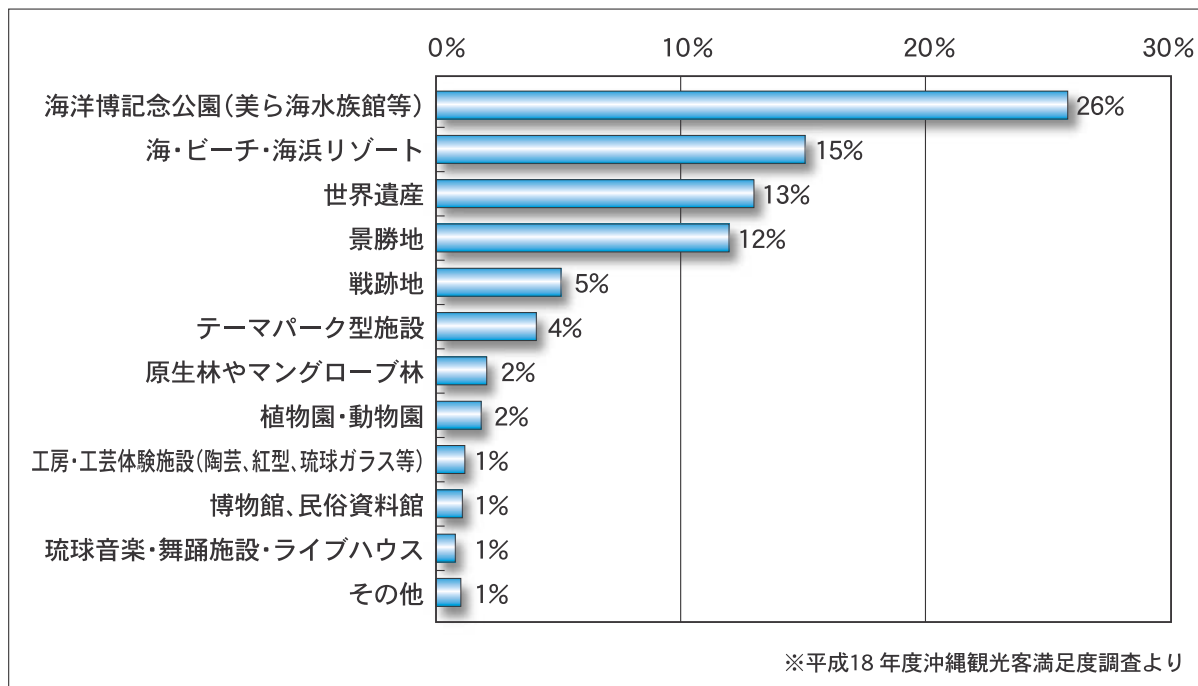
最も印象に残った活動の満足度(活動タイプ別)



“大変満足”の比率をみると、「エコツアー(自然体験)」が「ダイビング」、「海水浴・マリレジャー」をおさえトップとなっている。「スパ・エステ」、「エコツアー(文化・歴史体験)」、「ゴルフ」など、付加価値が高いメニューの比率が低くなっている。

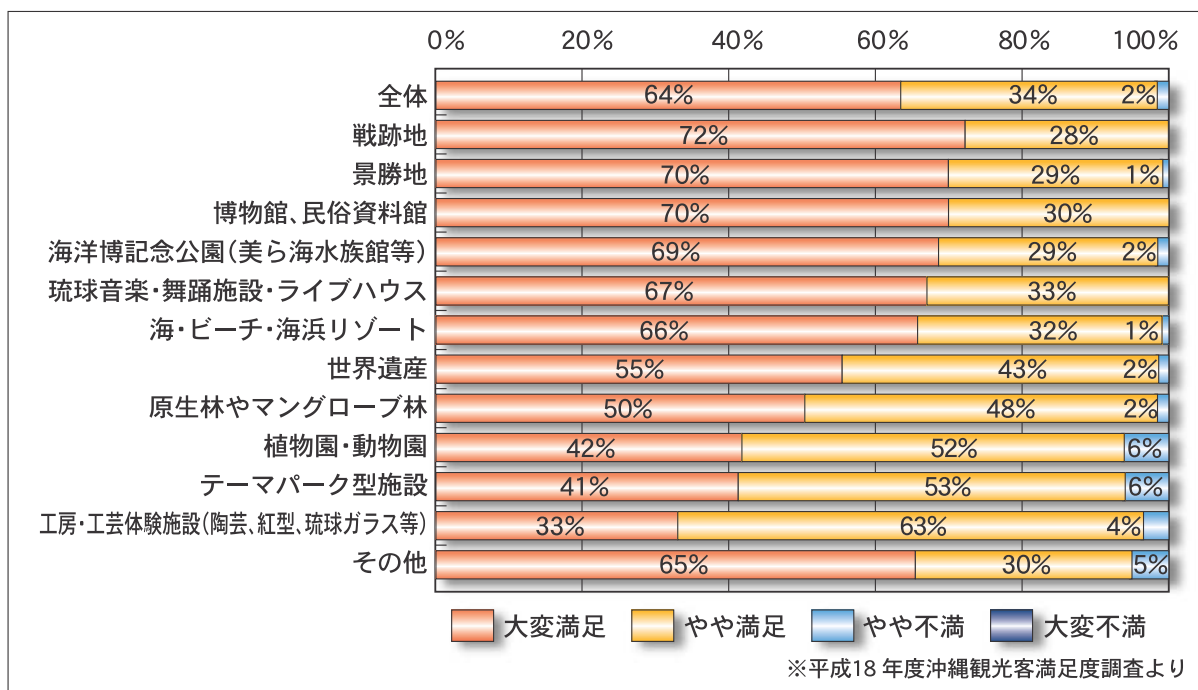
観光地・観光施設

最も印象に残った観光地・観光施設



「海洋博記念公園」、「海・ビーチ・海浜リゾート」、「世界遺産」、「景勝地」など来訪者が多いポイントが上位にある。

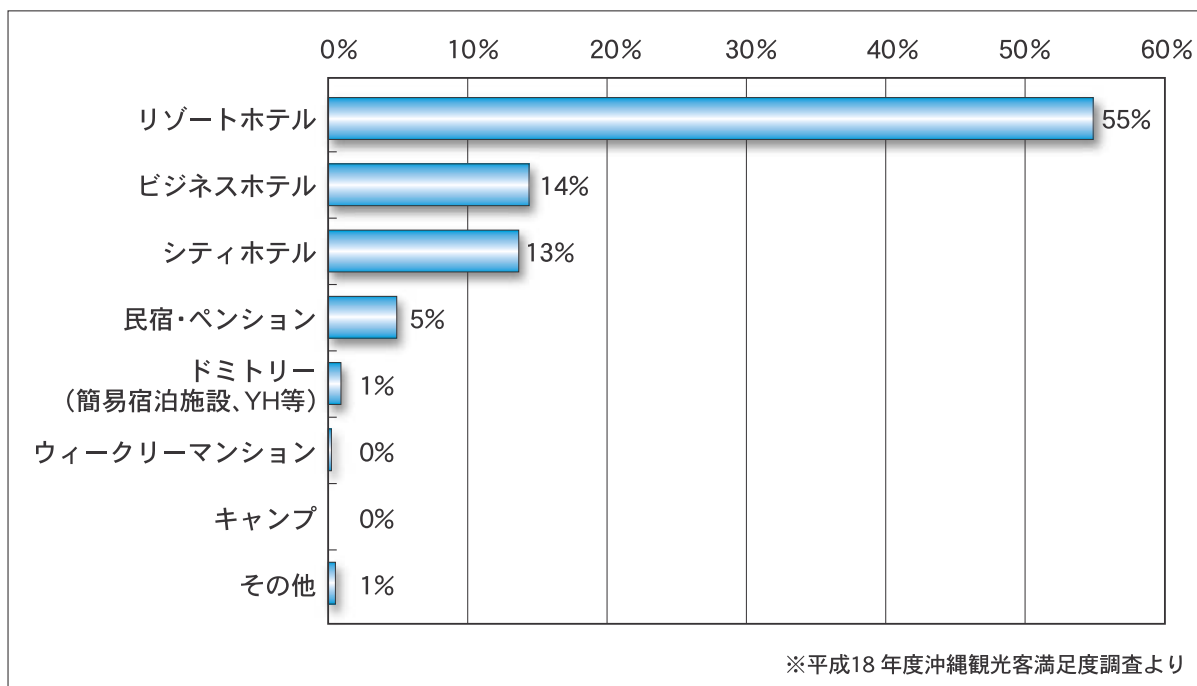
最も印象に残った観光地・観光施設の満足度(観光地タイプ別)



“大変満足”の比率をみると、順位が大幅に入れ替わり、印象度では中位以下にある「博物館、民俗資料館」、「琉球音楽・舞踊施設・ライブハウス」などの順位が上がっている。

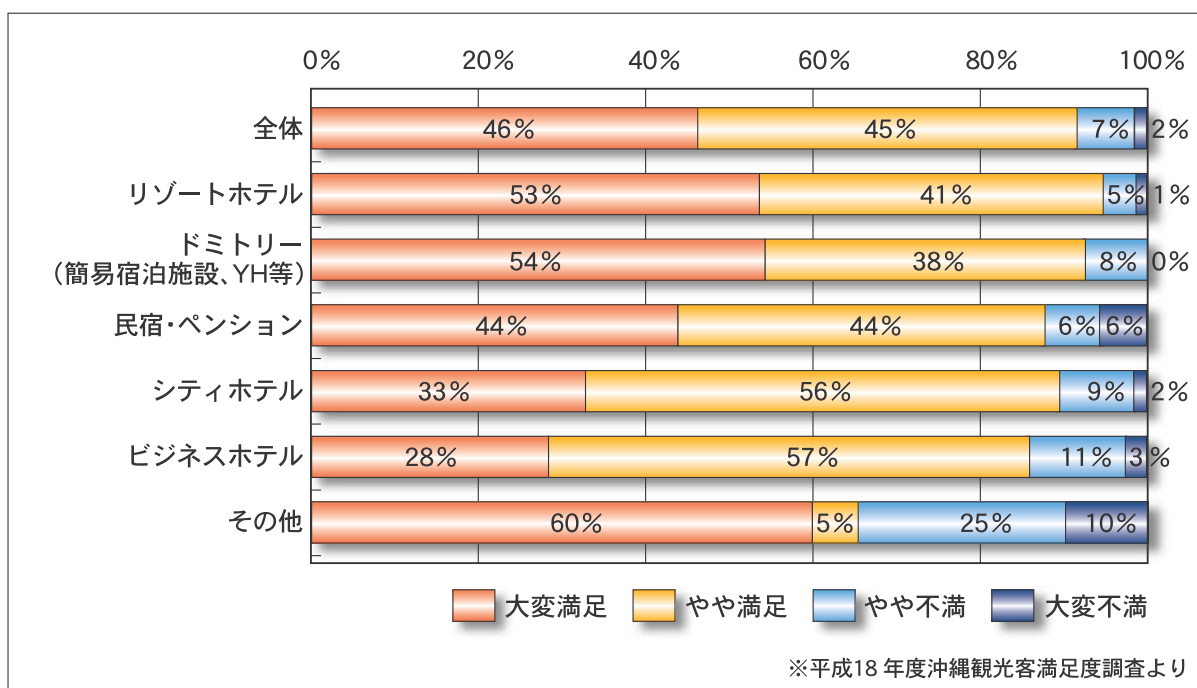
宿泊施設

最も印象に残った宿泊施設



「リゾートホテル」の印象度が群を抜いて高くなっている。

最も印象に残った宿泊施設の満足度(宿泊施設タイプ別)

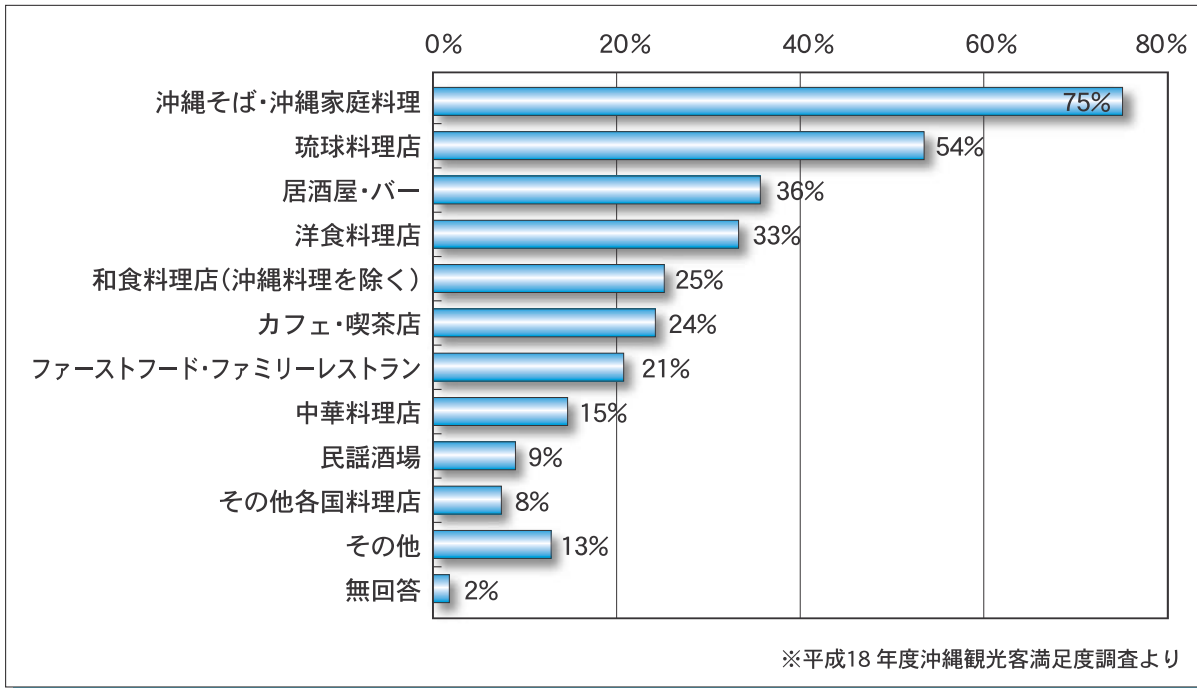


※「ウィークリーマンション」、「キャンプ」については回答数が少ないため「その他」に含めている

「リゾートホテル」で“大変満足”と“やや満足”を合わせた比率が最も高く、「ドミトリー」は利用者数は少ないが、同じくらい高くなっている。

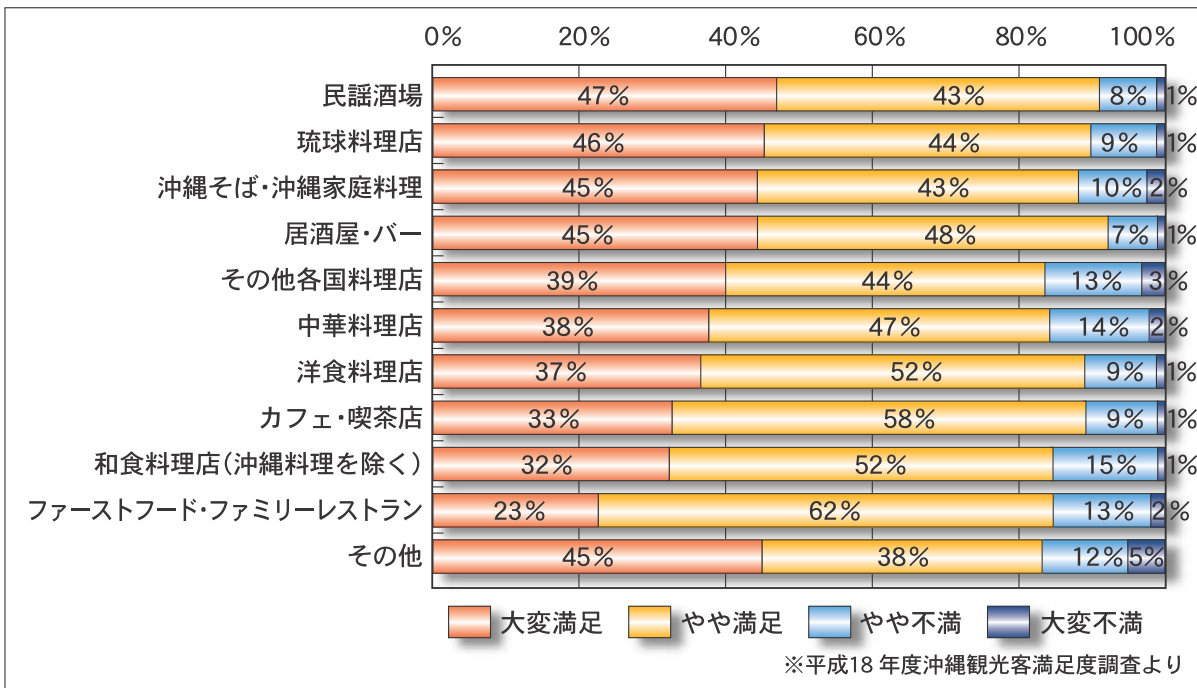
食事

利用した食事(ジャンル別・複数回答)



「沖縄そば・沖縄家庭料理」が最も多く75%となっている。
 ついで「琉球料理店」、「居酒屋・バー」、「洋食料理店」が続いている。

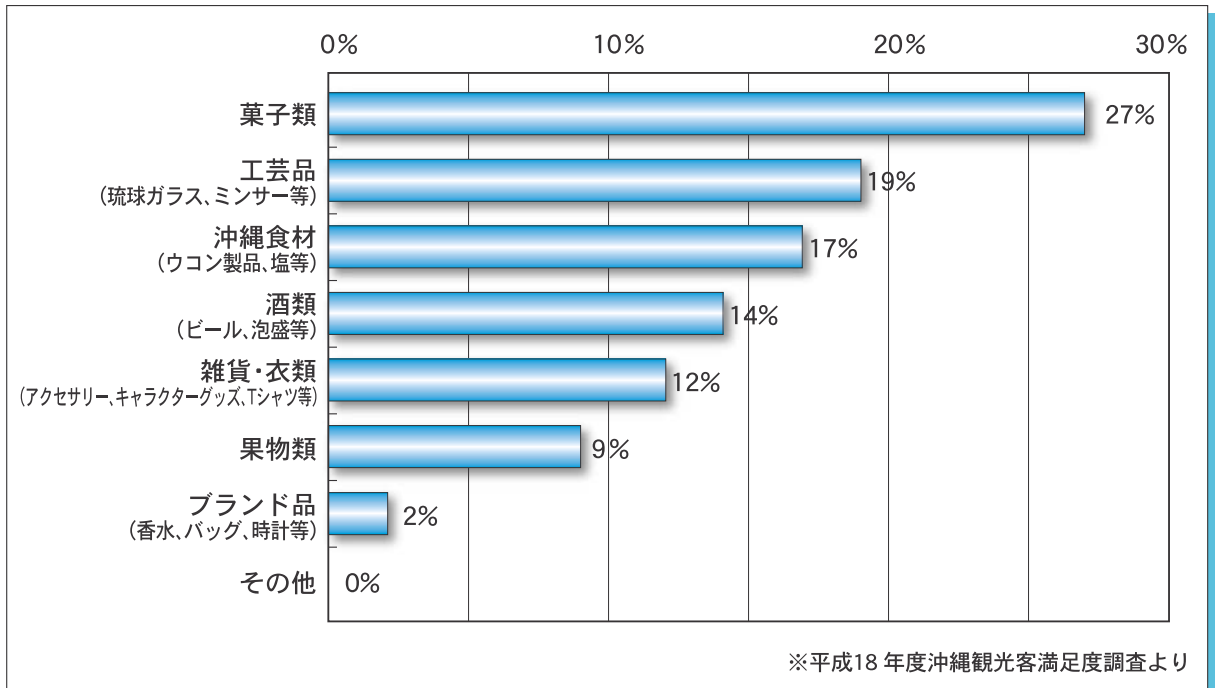
食事ジャンル別の満足度



利用率では下位にあった「民謡酒場」が最も“大変満足”の比率が高く、「琉球料理店」、「沖縄そば・沖縄家庭料理」など、沖縄色を前面に出している店舗・料理についても高くなっている。

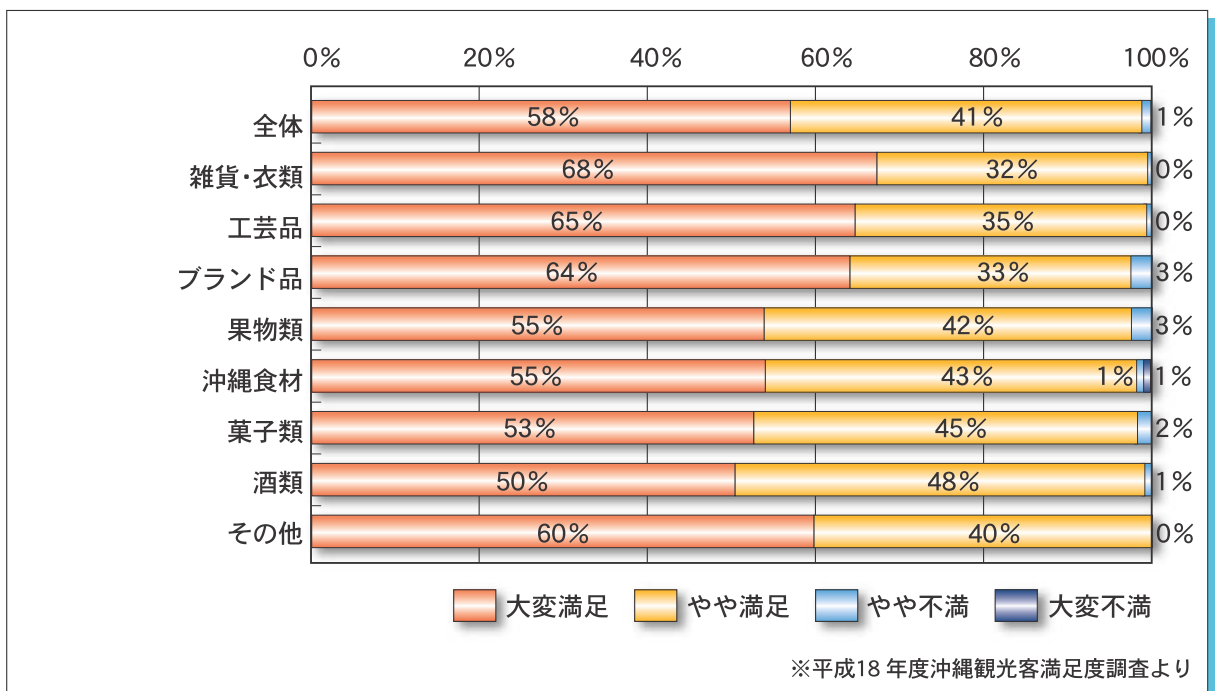
土産品

最も印象に残った土産品



「菓子類」が最も多く、ついで「工芸品」、「沖縄食材」、「酒類」とつづいている。

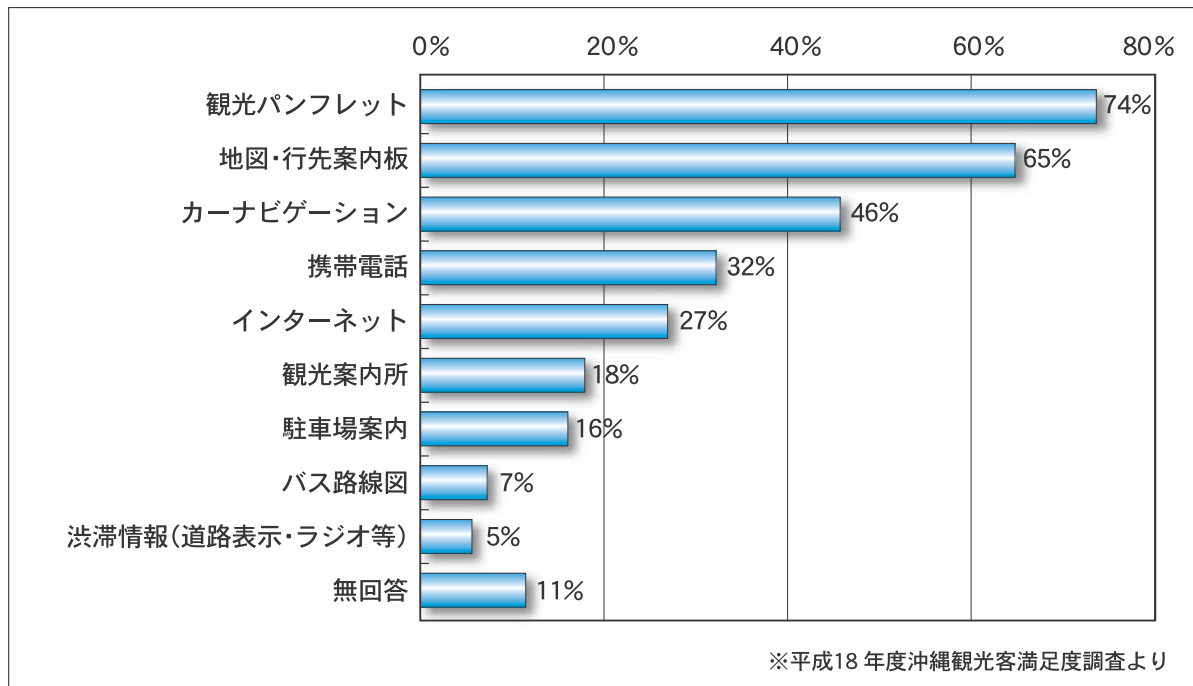
最も印象に残った土産品の満足度(土産品タイプ別)



「雑貨・衣類」の“大変満足”比率が高く、「工芸品」、「ブランド品」も同くらい高くなっている。

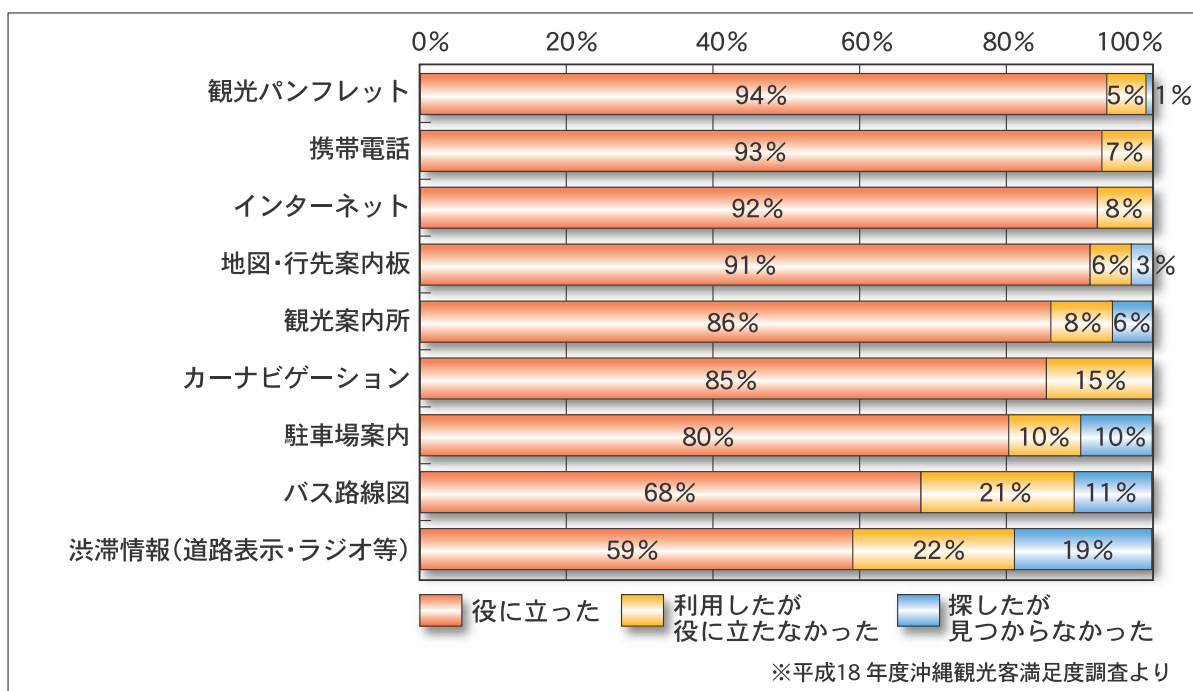
観光情報

利用した観光情報（複数回答）



利用率が最も高いのは「観光パンフレット」、ついで「地図・行先案内板」となっている。またレンタカー利用者が多いことから「カーナビゲーション」の利用率も高い。

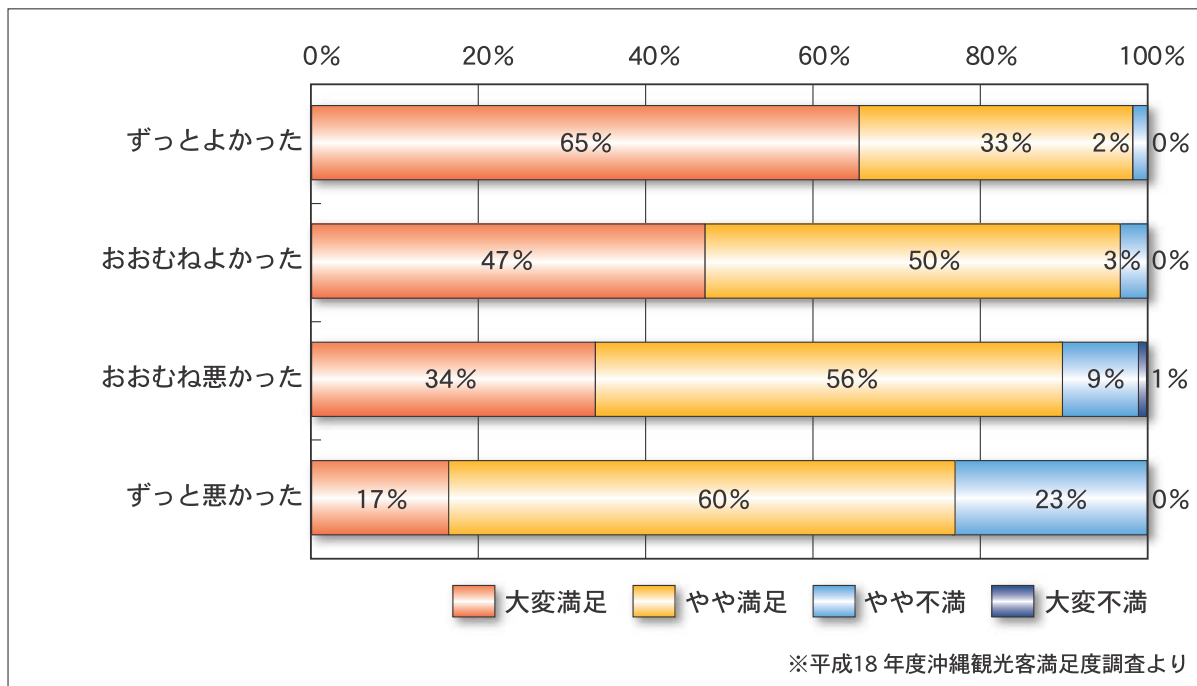
観光情報の満足度



「観光パンフレット」「地図・行先案内板」は利用したほとんどの人が“役に立った”と評価している。一方、「バス路線図」「渋滞情報」は“役に立たなかった”割合が高くなっている。

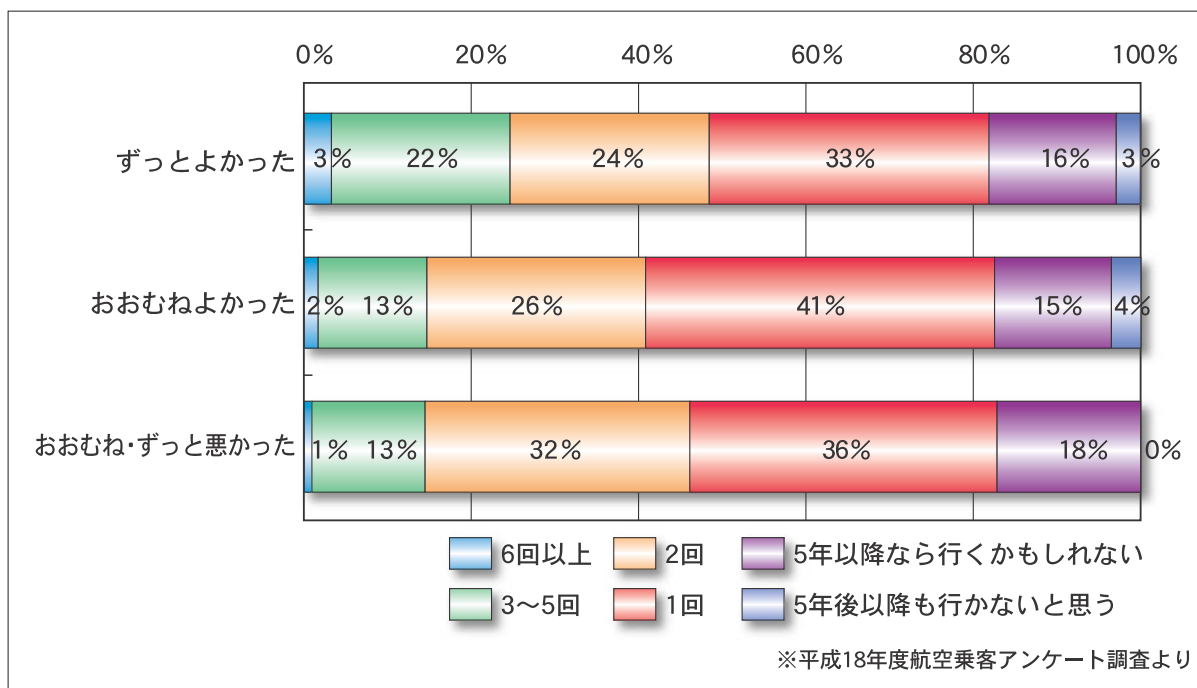
旅行中の天気

旅行中の天気と満足度



旅行中の天気が「ずっとよかった」人の“大変満足”の比率は65%と高く、天気が悪くなるに従い比率は低くなっていることから、天気が満足度に影響を与えているといえる。

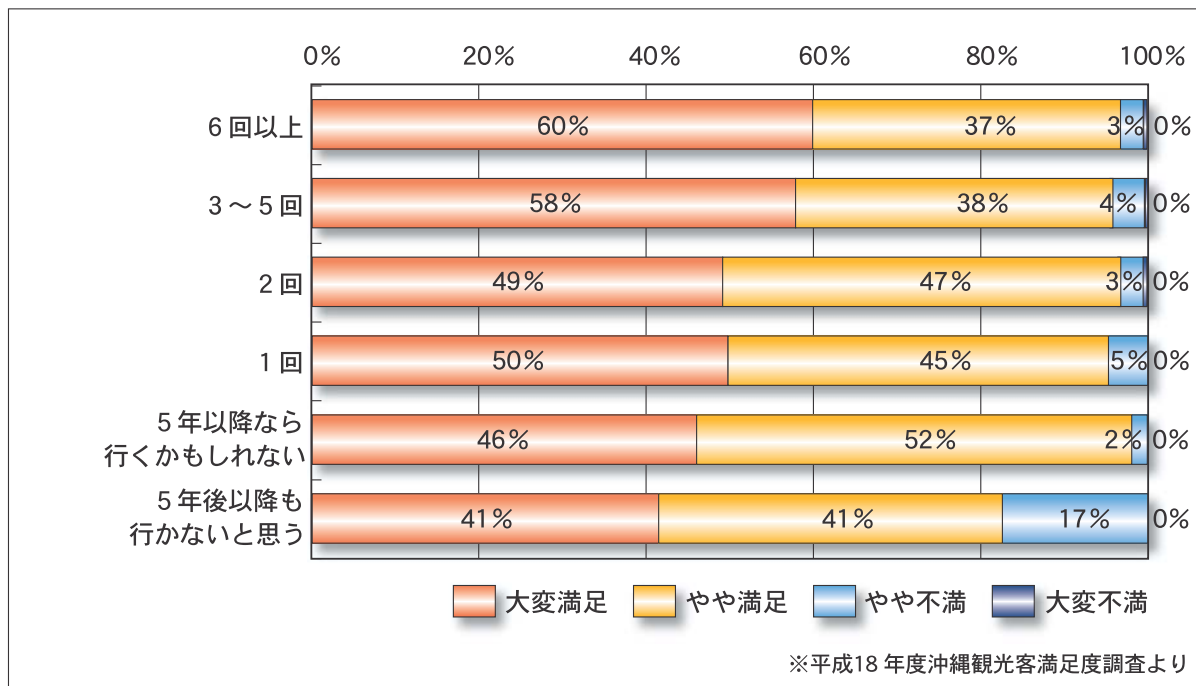
旅行中の天気と5年以内の再訪意向（沖縄来訪が「初めて」の人）



天気が「ずっとよかった」場合、5年以内の再訪意向回数は多くなっている。一方、天気が「悪かった」と「おおむねよかった」では再訪意向はあまり変わらないことから、天気の再訪意向への影響は必ずしもマイナスには働かないことがわかる。

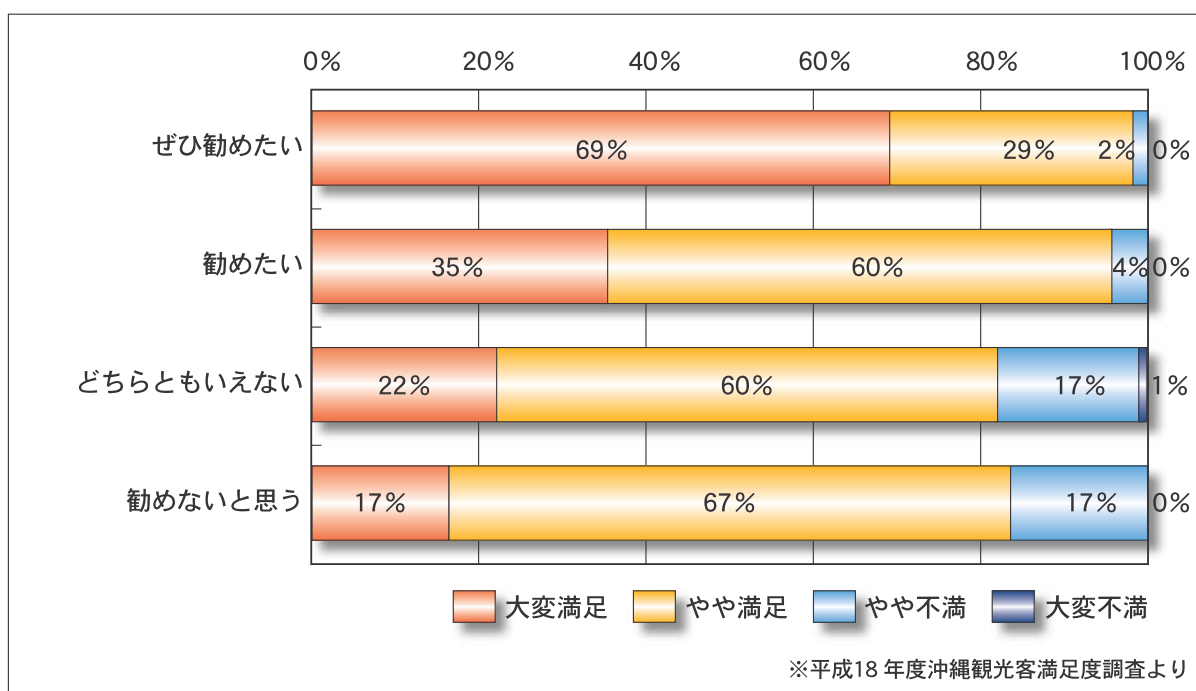
再訪意向・推奨意向

5年以内の再訪意向と満足度



再訪意向回数が多くなるに従い満足度は高くなっている。「5年後以降も行かないと思う」と回答したうちの2割は旅行について“やや不満”、“大変不満”と感じている。

推奨意向と満足度



「ぜひ勧めたい」と回答した7割が、旅行について“大変満足”と感じている。人への推奨につながるのは“大変満足”と感じた場合が多く、“やや満足”では必ずしも推奨につながらないことがわかる。

平成18年度観光統計実態調査

◆平成18年度航空乗客アンケート調査

調査時期：平成18年6月、8月、11月、平成19年2月。

調査項目：旅行目的、旅行内容、費目別消費額、等。

◆平成18年度沖縄観光客満足度調査

調査時期：平成18年6月、7月、11月、平成19年2月。

調査項目：旅行目的、観光活動、食事、購入した土産品とそれらについての満足度、等。

沖縄県 観光商工部 観光企画課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2

TEL：098-866-2763 FAX：098-866-2767

URL：<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=233>

※この冊子は、調査結果のうち特徴的な部分を抜粋して作成しています。

より詳しい内容につきましては報告書をご覧ください。

報告書は上記URLよりダウンロードできます。

この冊子は1,500部作成しました。調査実施から報告書・冊子の印刷まで一括して外部機関に委託しており、委託費用は15,844,500円でした。